

都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介

親子で学ぶ 消費者一日教室

福島県金融広報委員会
渡辺 恵

「これからお札のヒミツを探すヒントを出します。さあみんな、いくつ見つけられるかな?」。福島県金融広報委員会事務局の日本銀行福島支店と福島県とがタイアップして開催した新しいイベント「親子で学ぶ消費者一日教室」の一場面で

す。そこで私は、お札のヒミツの説明と支店見学案内を担当しました。普段まじまじと見ることの少ない「お札」を拡大鏡やブラックライトを使いヒミツを探しました。ヒミツを見つけた子どもたちは元氣よく「はーい。ここにあったよ!」と教えてくれたり、「お札つてスゴイ!もつと大切に使わなくちゃ」との感想が聞かれました。また、窓口の見学では、「日銀は私達の生活に身近な銀行なんだ」と日銀の役割について知っていたり、機会となりました。

融広報アドバイザーの説明により「欲しいもの必要なもの」についても親子で考えてもらいました。普段、家庭で「お金」について話をする機会は少ないかと思いますが、今回の企画が子どものころから「お金の使い方」や「ものを大切にする心」を身に付けるきっかけになることを期待しています。



ハイサイ! 知るぽると 沖縄です

沖縄県金融広報委員会
新城 やよい

沖縄県金融広報委員会では、毎年10月に「くらしとお金を考える週間」を独自で設定しております。その一環として、今年は特別企画イベント「みんなで学ぼう!おかねのね」を多くの買い物客で賑わうショッピングセンターにおいて10月30日(土)

に初めて開催いたしました。本イベントは、「沖縄県金融広報委員会の活動を、もっと多くの人に知ってもらいたい!」という思いから私自身が提案し、金融広報アドバイザーの方々と一緒に企画をしました。内容としては、「生活設計」と「金銭教育」をテーマに、普段あまり意識する事の少ない自身のライフスタイルやお金との付き合い方、そして家庭であまり話題にすることがないお金について子どもたちと一緒に学べるきっかけとしてもらうことを考えました。具体的には、暮らしとお金に関する当県の統計や、「お

かねのね」を活用した親子向けのパネルを作成して展示したほか、お金クイズ、絵本の読み聞かせによる金銭教育、一億円模擬券パックの重さ体験など子どもも大人も気軽に参加できるように工夫いたしました。特に私が担当した一億円模擬券パックの重さ体験は大人気で、初めて手にする大金の重さに感動したり、驚いたり、汗んだりと思いきいその重みを実感されていました。参加者のアンケート



トからは、「子どもも大人も一緒に学ぶことができとてもよかったです!」また開催してほしいなどの感想をいただき、初開催ながら好評を博し、大変うれしく思うと同時に、今後とも創意工夫のある金融広報活動を広げていきたいと思えます。